

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成25年8月15日(2013.8.15)

【公開番号】特開2012-18245(P2012-18245A)

【公開日】平成24年1月26日(2012.1.26)

【年通号数】公開・登録公報2012-004

【出願番号】特願2010-154618(P2010-154618)

【国際特許分類】

G 0 2 B 27/22 (2006.01)

H 0 4 N 13/04 (2006.01)

G 0 3 B 35/24 (2006.01)

G 0 2 B 3/00 (2006.01)

G 0 2 B 3/06 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 27/22

H 0 4 N 13/04

G 0 3 B 35/24

G 0 2 B 3/00 A

G 0 2 B 3/06

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月3日(2013.7.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フラットパネルディスプレイに順次設定した右眼用の画素群と左眼用の画素群からの出射光を、前記フラットパネルディスプレイの前面に配置したレンチキュラレンズ又はパララックスバリアを介して出射し、右眼用及び左眼用の視点群を形成して多視点の立体画像を表示する立体画像表示装置において、

前記レンチキュラレンズの同一のシリンドリカルレンズ、又は前記パララックスバリアの同一の開口を介して視点群を形成する右眼用の画素群と左眼用の画素群との間に、前記同一のシリンドリカルレンズに隣接するシリンドリカルレンズ、又は前記同一の開口に隣接する開口を介して視点群を形成する右眼用の画素群と左眼用の画素群を設定した

ことを特徴とする立体画像表示装置。

【請求項 2】

観察者の右目と左目の位置を検出する位置検出手段と、

前記位置検出手段の検出結果に基づいて、前記右眼用及び左眼用の画素群の位置を前記観察者の位置に対応する位置に補正する補正手段とをさらに備える

ことを特徴とする請求項 1 に記載の立体画像表示装置。

【請求項 3】

フラットパネルディスプレイに順次設定した右眼用の画素群と左眼用の画素群からの出射光を、前記フラットパネルディスプレイの前面に配置したレンチキュラレンズ又はパララックスバリアを介して出射し、右眼用及び左眼用の視点群を形成して多視点の立体画像を表示する立体画像表示方法において、

前記レンチキュラレンズの同一のシリンドリカルレンズ、又は前記パララックスバリア

の同一の開口を介して視点群を形成する右眼用の画素群と左眼用の画素群との間に、前記同一のシリンドリカルレンズに隣接するシリンドリカルレンズ、又は前記同一の開口に隣接する開口を介して視点群を形成する右眼用の画素群と左眼用の画素群を設定する

ことを特徴とする立体画像表示方法。

【請求項 4】

観察者の右目と左目の位置を検出し、

当該検出結果に基づいて、前記右眼用及び左眼用の画素群の位置を前記観察者の位置に対応する位置に補正する

ことを特徴とする請求項 3 に記載の立体画像表示方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

(2) 請求項 2 の発明は、

観察者の右目と左目の位置を検出する位置検出手段と、

前記位置検出手段の検出結果に基づいて、前記右眼用及び左眼用の画素群の位置を前記観察者の位置に対応する位置に補正する補正手段とをさらに備える

ことを特徴とする (1) に記載の立体画像表示装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

(4) 請求項 4 の発明は、

観察者の右目と左目の位置を検出し、

当該検出結果に基づいて、前記右眼用及び左眼用の画素群の位置を前記観察者の位置に対応する位置に補正する

ことを特徴とする (3) に記載の立体画像表示方法。